

令和7年 金沢市教育委員会第10回定例会 会議録

1 日 時 令和7年10月15日(水)

開会 13時30分

閉会 14時20分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(5名)

教 育 長	野 口 弘
教 育 委 員	大 島 淳 光
〃	木 村 陽 子
〃	櫻 吉 啓 介
〃	山 本 英 輔

4 欠席委員(2名)

教 育 委 員	丸 山 章 子
〃	長 澤 裕 子

事務局

教育次長
担当次長(兼)教育総務課長
教育総務課長補佐
担当次長(兼)学校職員課長
学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐
担当次長(部活動地域移行担当)(兼)学校指導課長
学校指導課担当課長(兼)課長補佐
市立工業高校事務局長
生涯学習課長(部活動地域移行担当)
図書館総務課長(兼)玉川図書館長
教育プラザ総括施設長
(兼)学校教育センター所長
(兼)特別支援教育サポートセンター所長

堀 場 喜一郎
前 多 洋 一
内 山 善 之
中 田 知 邦
中 田 義 成
貞 廣 賢 了
藤 田 亮 治
今 井 信 也
小 川 晶 子
岩 崎 友 代
熊 谷 有紀子

5 案 件

議案第18号 令和8年度金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針
(案)について (学校指導課)

報告第18号 令和8年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第1学年入学者募集要項
について (市立工業高等学校事務局)

報告第19号 令和7年度金沢市社会教育功労者表彰について (生涯学習課)

非 報告第20号 令和7年度金沢市実習助手採用候補者選考試験の結果について
(学校職員課)

そ の 他

(1) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議挨拶に続いて、傍聴希望者4名について協議し、傍聴を許可した。審議に入る前に、新たに教育委員に就任した山本委員より就任の挨拶があった。また、野口教育長より、10月3日付で教育長の職務代理者に大島委員を指名したことが報告された。次に、会議録署名委員に大島委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が報告第20号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、議案第18号、報告第18号、報告第19号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、11月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に報告第20号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

＊ 11月の定例会議の日程：令和7年11月26日（水）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 山本委員就任挨拶

山本委員

山本英輔と申します。所属は金沢大学の学校教育学類です。教員養成系の学部ですが、もちろん教育委員を務めるのは初めてであり、金沢市の教育行政について一つ一つ学びながら精進したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○ 議案第18号 令和8年度金沢市立小・中学校における教育課程編成・実施の基本方針（案）について（学校指導課）

（説明の概要）議案書2～5ページ。本基本方針は、「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」、「Ⅱ 教育課程実施の基本的な考え方」、「Ⅲ 教育課程編成・実施の留意事項」の三つで構成される。各学校はこの基本方針に基づき、教育課程を編成・実施することとなる。

別冊資料2ページ。令和3年1月に中央教育審議会から答申された『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して』では、「急激に変化する時代の中で、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることのできる資質・能力を育成することが求められており、その資質・能力を育むためには、新学習指導要領の着実な実施が重要である」と記されている。この答申を踏まえ、本市の教育課程の基本方針を策定している。

令和8年度は、現行の学習指導要領が全面実施されて小学校は7年目、中学校は6年目となる。これまでと同様に学習指導要領を踏まえて教育課程を編成していく。

本市では令和7年度より「新金沢型学校教育モデル」を実施し、新しい時代が求める自学・共創の学びを通して、「デジタル力」「読解力」「コミュニケーション力」の三つの力を基盤に、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見いだす「創造力」を育んでいる。「新金沢型学校教育モデル」は「金沢ベーシックカリキュラム」「金沢探究スタイル」「金沢リフレクション」の三つの要素で構成されており、本基本方針は「金沢ベーシックカリキュラム」に基づく教育活動を実践するに当たって定めたものである。

「Ⅰ 教育課程編成の基本的な考え方」では、大きく6点について示している。

「1 金沢ベーシックカリキュラムに基づく特色ある教育課程の編成」は（1）～（6）の記載のとおりである。

「2 デジタル力の育成に向けた教育課程の編成」では、デジタル科の設置により、プログラミング学習やデータ活用探究学習、最先端技術体験の実施、デジタル・シティズンシップ教育の充実を図ることができるよう、主体的にデジタル社会に関わるデジタル力の育成を図る教育課程の編成について記載している。主な変更点として、(3)に生成A Iの利活用について明記した。小学校第5学年から中学校第3学年までは、5教科の金沢ベーシックカリキュラムに年1回、生成A Iを利活用する学習を位置付けるとともに、デジタル・シティズンシップ教育の授業で生成A Iの基礎について学ぶ時間を1学期中に1回位置付ける。これは次年度からになる。

「3 読解力の育成に向けた教育課程の編成」では、各教科において学び続けるための土台となる読解力の育成を図る教育課程の編成について記載している。

「4 コミュニケーション力の育成に向けた教育課程の編成」では、他者を尊重し自分の意思を伝えるコミュニケーション力の育成を図る教育課程の編成について記載している。

「5 特別支援学級、通級指導教室における教育課程の編成」については、「金沢市特別支援教育指針(第2次)」の基本理念に基づいて教育課程を編成している。

「6 信頼される学校づくりに向けた教育課程の編成」については、変更点はない。

「II 教育課程実施の基本的な考え方」では、大きく4点について示している。

「1 教育課程実施における量的な把握と質的な把握」では、指導内容の確実な定着等を図るために、適切な指導時間を確保することを示すとともに、標準授業時数を大幅に上回って教育課程を編成することのないよう留意することを示している。2～4は大きな変更点はない。

「III 教育課程編成・実施の留意事項」では、各学校において教育課程や実施計画を作成する際に盛り込むべき内容や留意すべき事項等を具体的に示している。

「1 指導計画の内容」では、来年度、小・中学校ともに給与済みの教科書を引き続き使用するものもあるため、巻末にある別紙1、別紙2に示されている教科・学年においては教育課程の編成に留意するよう示している。

別冊資料1 1～1 2ページは「2 教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割」について示している。

別冊資料1 3ページは「3 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の教育課程の編成・実施に向けた各担当者の役割」、「4 教育課程実施状況の把握と改善」について具体的に示している。

「5 教育課程編成・実施に向けて留意すべき授業時数等」では、特にデジタル科の設置に当たって、文部科学省の授業時数特例校制度を活用し、各学年の年間の標準授業時数の総授業時数は維持した上で、各教科の標準授業時数を下回った教育課程を編成していることについて具体的に示している。(4)小学校英語活動・英語科については、第1・2学年ではショートタイムを実施するが、第3～6学年ではショートタイムを実施せず、副読本「S o u n d s G o o d ! K A N A Z A W A」は英語科の授業で扱うことを示している。

別冊資料1 6ページは「6 教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容等」、「7 特別支援学級の教育課程編成・実施に向けて留意すべき内容・授業時数等」について具体的に示している。

「8 G I G Aスクール構想に基づく教育課程の実施に向けて留意すべき内容」では、デジタル力の育成が図られるよう具体的に示している。1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している割合が令和8年度までに100%となるよう明記してあるが、活用することが目的ではなく、効果的な活用によって児童生徒の学びがより一層充実するよう周知していきたいと考えている。

本日お認めいただければ、学校に通知し、各校の校長がこの基本方針に基づき、学校の実情に応じた特色ある教育課程を編成することとなる。

櫻吉委員

内容については別に反論等があるわけではないのですが、別冊資料4ページで、デジタルも読解もコミュニケーション力もそうだったのですが、小学校は10教科、中学校は9教科で「Dタイム」等として位置付けるとあります。教科の中に入っていない教科は何があるのですか。

貞廣学校指導課長	少しお時間を頂いてお調べいたします。
櫻吉委員	分かりました。１５ページの英語科のところに１５分のショートタイム授業とあるのですが、具体的にはどんな形で運用するものなのですか。１時限は４０分ですよね。
貞廣学校指導課長	これは朝学習の時間です。例えば８時１５分から８時半の朝学習に取り組む時間帯に、小学校１・２年生は英語に親しむということで１５分間のショートタイムを３０回取ることとしています。
櫻吉委員	それは授業時間数に入ってくるのですか。
貞廣学校指導課長	これは授業時間数外です。
櫻吉委員	外なのですか。
貞廣学校指導課長	はい。例えば１・２年生はショートタイムで英語をやっているのですが、３・４年生だったら朝読書をしていたり、算数のプリントをしています。その時間を年間３０回設けることにしています。
櫻吉委員	低学年はそれ以外に英語の時間があるのですか。
貞廣学校指導課長	１・２年生はありません。
櫻吉委員	６ページの一番下に、「知的障害のない児童生徒に対しては、道徳科の教育課程を編成し、時間割上にも明記する必要がある」とあるのですが、ということは知的のクラスは道徳がないことになるのですか。
熊谷教育プラザ総括施設長	おっしゃるとおり、情緒学級のところではしっかり明記する必要があるということになります。
櫻吉委員	知的障害がある子にも道徳教育は必要なのではないかと思うのですが、そこは道徳としてではなく、別の形で取り組んでいるという考え方でいいですか。
熊谷教育プラザ総括施設長	知的にハンディキャップのある子どもたちについては、なるべく具体物や生活に結び付けて分かりやすく社会性を育てていくということで、あくまでも各教科の中でその場面を捉えて、意識的に丁寧に育てていくことになります。
櫻吉委員	教科としてはないけれども、取り組んでいくということでよろしいですか。
熊谷教育プラザ総括施設長	自立活動も含めて取り組んでいきます。
櫻吉委員	続けて１０ページの一番上で、生成ＡＩの利活用の部分についてお話があったと思います。これは来年度からなのですが、具体的にこういうふうに授業に入れていくという話はどうなっていますか。
貞廣学校指導課長	文部科学省からいろいろな実践事例がありまして、例えば英語であれば、

	<p>自分で英作文したものを生成ＡＩに尋ねて英作文の添削をしたり、自分が作ったレポートについて生成ＡＩに尋ねたりする授業例が記載されていますので、それらを教育委員会で精査した上で、５年生か６年生、そして中１、中２、中３と各教科で位置付けていくことを考えています。</p>
櫻吉委員	<p>生成ＡＩは取り入れていく流れになっているので、そうなのだろうなと思うのですが、教育現場ではまだ生成ＡＩのメリットがデメリットを上回っていないのではないかと個人的には思っていて、きちんとした読解力の下に生成ＡＩを使うのであればメリットは大きいと思うのですが、読解力がまだ不十分な子たちにとって本当に有効な手段なのかという疑いの気持ちはどうしても消えなくて、導入には慎重であってほしいと思っています。</p>
貞廣学校指導課長	<p>おっしゃられたとおり、学習の状況や発達の段階を考慮して、生成ＡＩの利用が可能な学年を小学校では５年生からとしたのはそういう理由もあります。小学校５年生で教育課程の中に生成ＡＩの仕組みや利便性、リスク、留意点等を学ぶ時間を設けてあります。また小学校５年生から読解力の学習も進んでいきますので、金沢市としては、生成ＡＩの活用に当たってはそういうところも考慮した上で使用することを考えて、小学校５年生からとしています。また学ぶに当たってはデジタル・シティズンシップ教育の中においても、今ほど言いました生成ＡＩの利便性だけでなくリスクのところもしっかり学んでいきたいと考えています。</p>
大島委員	<p>教育課程編成・実施の基本方針に目を通すと、社会の変化に伴って、小学校、中学校の頃に基本的なことを学んでいくということが全て網羅されていると非常に感じました。ただ一方で、総合訪問等で授業の内容を拝見すると、ＩＣＴの活用は数年前から始まって年々積み上げがあり、最初はとにかく使ってみるところから、今は学びを深めるための道具として使うフェーズまで上がってきていると感じています。この方針についても、デジタル力の育成ということでもますます進化していかなければいけないと思うのですが、校長の話を聞いたりすると、どうしてもＩＣＴの活用については格差が課題だという学校が幾つかあります。そのあたりの積み重ねは非常に重要なのですが、難しいところについては、何のためにＩＣＴを使うのかという基本の部分をしっかり押さえていただきたいと思います。</p>
貞廣学校指導課長	<p>おっしゃるとおり、ＩＣＴを使うことが目的になってしまわないように、学習のねらいやこれから子どもたちが力をつけていく上で必要なところは大事にしながら、ＩＣＴ支援員のお力も借りながら、子どもたちのために、デジタルとリアルの往還を大切にして進めていきたいと思っています。</p>
木村委員	<p>子どもたちの「自分は思うか」「自分はどうしたいか」「自分に何ができるか」という可能性を伸ばすような、大変素晴らしい形になっていると思いますが、生成ＡＩを利活用する学習に先生方は全て対応できるのでしょうか。</p>
貞廣学校指導課長	<p>先生方にも生成ＡＩの活用についてのガイドブックを作っておりますので、それらを教務主任等の連絡会でお伝えした上で進めていきたいと考えています。本来ならば２学期以降ということも考えたのですが、先生方へ使い方や目的等をしっかりと周知する期間を設け、次年度からと考えています。</p>
木村委員	<p>一方で「金沢ふるさと学習」というもの、伝統や文化、食といった全ての金沢らしい教育をここに取り上げていただいているので非常に良いと思います。これからもそういう子どもたちが育っていったらいいなと</p>

	<p>思います。</p>
貞廣学校指導課長	<p>おっしゃるとおり、金沢の風土、歴史、文化等を踏まえた上で、金沢だからこそのことをしっかりと取り扱っていきたいと考えています。</p>
木村委員	<p>お願いいたします。</p>
貞廣学校指導課長	<p>先ほどの櫻吉委員からの質問についてですが、別冊資料9ページ、「1指導計画内容」の「(1) 小学校において編成する教育課程」に、令和7年度より道徳科及び総合的な学習の時間を除く全ての教科にDタイム等を位置付けているとあります。そうすると、先ほどの件については小学校は12引く2で10教科になります。中学校も、同じく9ページの「(2) 中学校において編成する教育課程」に同様の文言がありますので、11引く2で9教科となります。お時間がかかってしまい、申し訳ございませんでした。</p>
山本委員	<p>大変素朴な質問なのですが、8ページの土曜授業についてご説明いただきたいのです。もちろんこれは「実施してもよい」ということなので、しなくてもよいという理解でよろしいかと思うのですが、教員の業務の負担がやや心配です。ただ、学期に原則1回ということでそれほど負荷が大きいということではないでしょうけれども、その辺のことと、そもそも土曜授業を行う目的、意義についてご教示いただければと思います。</p>
貞廣学校指導課長	<p>結論から言いますと、ここ数年は土曜授業の申請はありませんでした。以前は土曜授業のところいろいろな学校行事を入れたり、平日午後からの授業をカットして授業参観を土曜日に入れるなど、弾力的な教育課程を編成するときに学校が学期に1回土曜授業が行えると、特色ある教育課程をつくりやすいということなどもあって、土曜授業を行っていました。ただ、ここ数年は、今おっしゃられたような教員の勤務体制のこともあって、ほとんど申請はない状況です。</p>
山本委員	<p>つまり月～金で固まったスケジュールでなかなか収め切れないものがあって、それを土曜日に回すという発想ですね。ありがとうございました。</p>
野口教育長	<p>7ページのⅡの1の(1)で、「標準授業時数を大幅に上回って(年間1086時間以上)」となっています。標準授業時数ですから高学年と中学校は1015時間、低学年は980時間になると思いますが、「年間1086時間」という数字の根拠は何なのでしょう。</p>
貞廣学校指導課長	<p>計画段階ではほとんどそういうことはないのですが、実施の段階で、年度末に教育課程の調査を行うと、40週ぐらいで組んだ場合、どうしても1086時間という数字が出てきて、それは大幅に子どもたちの負担過重になっているのではないかという指摘等が文科省からもあります。計画段階ではしっかりとなっているのですが、実際運用していくと年間35週ではなく年間37～38週となるため、1086時間という基準が出てきているのだと思います。金沢市としても、計画の段階ではしっかりなっていますが、38週、39週で組んだときにどうしてもそういう学校が出てきますので、平時のところで少し弾力的に、週29コマで組むのではなくて、27コマ、28コマで組めるというところを大事にしてほしいということで、このような基準を示しています。</p>
野口教育長	<p>40週で29コマだと1160時間になります。国で次期学習指導要領が議論されていますが、1160から1015を引いたらかなりの時数が</p>

	残るのですが、欠課・欠時と特別活動などを合わせるとおよそ８０時間といわれており、１１６０から８０を引くとこれくらいの時間ぐらいになるだろうという理解でよろしいでしょうか。
貞廣学校指導課長	令和７年度のものはまだ調査していませんが、令和６年度の調査結果については、特別活動の時間等が多く出ています。
野口教育長	先ほど課長がおっしゃられたように、そういう時間になれば、週２７コマ、２８コマで組んでも特段問題ないので、各学校で１週間のコマを減らす工夫をしてはいかがでしょうか。
貞廣学校指導課長	はい。

○ 報告第１８号 令和８年度金沢市立工業高等学校全日制の課程第１学年入学者募集要項について（市立工業高等学校事務局）

（説明の概要）議案書７ページ。この募集要項は、６月に石川県教育委員会より通知された令和８年度石川県公立高等学校入学者選抜方針に基づき、出願資格、出願手続、入学者の選抜方針や日程などを定めたものである。基本的には県立高校と同様の内容となり、昨年度と比較して大きな変更点はない。

最初に、一般入学について説明する。出願資格は、令和８年３月に中学校等を卒業見込みで、石川県内に居住する者、または入学までに県内に居住することとなる者が対象となる。

募集定員は昨年度と同様で、機械科８０人、電気科・電子情報科・建築科・土木科が各４０人の合計２４０人である。この定員には後ほど説明する推薦入学の募集定員を含んでいる。

入学願書の受付期間は、令和８年２月１８日（水）から同月２４日（火）までである。

学力検査等は３月１０日（火）、１１日（水）の両日に実施し、合格者の発表は３月１８日（水）正午、受験番号の掲示をもって行う。

推薦入学については、募集人員は昨年と同様、募集定員２４０人の３０％となる５科７２人となる。

出願期間は、令和８年１月３０日（金）から２月３日（火）までとし、２月９日（月）に面接を行う。なお、「（７）推薦入学者の選抜」に記載のとおり、教科の学力検査は行わない。合格内定は、２月１３日（金）に各中学校長を通じて本人に通知する。推薦入学の合格者の発表は３月１８日（水）正午、一般入学の合格者とともに発表する。

救済措置については、「１５ 一般入学の学力検査等における救済措置」の「（１）対象者」に記載のとおり、予防すべき感染症等や風水震災火災その他の非常災害による交通遮断等により、一般入学の学力検査等の一部または全てを欠席した場合、本人からの申請に基づき本校校長が審査し、認められた者に対して追検査を実施する。なお、追検査の合格者数は若干名とし、一般入学の合格者に追加することとなる。追検査は３月１９日（木）に実施する。追検査の結果は、３月１９日（木）に中学校長を通じて本人に通知することとなっている。

この入学者募集要項は、この会議で承認いただいた後、１１月に告示を行う予定である。なお、石川県の入学者募集要項で追加・変更等があれば、県の内容に合わせて対応する。

櫻吉委員	１５の（１）のア、学校保健安全法に関する別室受験の対象者についてお聞きします。例えば、インフルエンザやコロナにかかると出席停止になると思うのですが、そういう子たちはどのような形で受験することになるのですか。
今井市工高事務局長	入学試験当日にそういった症状の生徒がいた場合は、それぞれ別室で受験する対応をとっています。

櫻吉委員

そうしますと、出席停止で学校は行けないのだけれども、本人の状態が良ければ試験は受けられるということですか。

今井市工高事務局
長

基本的に本人の受験意思に沿いつつ、他の生徒に影響が及ばないよう、それぞれ別室で受験することとしています。

○ 報告第18号 令和7年度金沢市社会教育功労者表彰について（生涯学習課）

（説明の概要）議案書15ページ。金沢市社会教育功労者表彰は、多年にわたり本市の社会教育の振興に尽力され、地域社会の発展に貢献された方のうち、特に功績の顕著な個人または団体に対して行うものである。今年度は石川県PTA連合会会長の泉博之氏を含む8名の方を受賞者として決定した。いずれの表彰者も公民館、婦人会等の活動を通し、社会教育活動に顕著な功績を収められている。表彰式は令和7年11月28日（金）午前10時30分から、市役所第二本庁舎で執り行う予定である。教育委員の皆さまにおかれては、お時間が許すようであれば表彰式にご列席いただければと考えている。表彰式の詳細については後日改めてご案内する。

（特になし）

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名

教 育 委 員 _____ 署 名

（大島委員）

[非公開議案の審議結果について]

○ 報告第 20 号 令和 7 年度金沢市実習助手採用候補者選考試験の結果について（学校職員課）

審議結果についても非公開

以 上